

文学部A方式 I 日程・経営学部A方式 I 日程・人間環境学部A方式

3 限 選 択 科 目 (60 分)

科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ	科 目	ペー ジ
政治・経済	2～22	日 本 史	24～38	世 界 史	40～55
地 理	56～66	数 学	68～73		

〈注意事項〉

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないこと。
2. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
3. 科目の選択は、受験しようとする科目の解答用紙を選択した時点で決定となる。一度選択した科目の変更は一切認めない。
4. 数学については、定規、コンパス、電卓の使用は認めないので注意すること。
5. マークシート解答方法については、以下の注意事項を読みなさい。

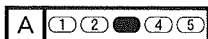
マークシート解答方法についての注意

マークシート解答では、鉛筆でマークしたものを機械が直接読みとって採点する。したがって解答はHBの黒鉛筆でマークすること(万年筆、ボールペン、シャープペンシルなどを使用しないこと)。

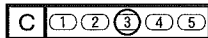
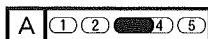
記入上の注意

1. 記入例 解答を3にマークする場合。

(1) 正しいマークの例



(2) 悪いマークの例



} 枠外にはみださないこと。

○でかこまないこと。

2. 解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消してから、あらためてマークすること。
3. 解答用紙をよごしたり、折りまげたりしないこと。
4. 問題に指定された数よりも多くマークしないこと。

(日 本 史)

〔I〕 つぎの史料を読んで、下記の問いに答えよ。

臣^a、去にし寛平五年に に任ず。かの国の下道郡に、邇磨^{にま}郷あり。ここにかの国の風土記^bを見るに、皇極天皇^cの六年に、大唐の將軍蘇定方、新羅の軍を率ゐる百濟を伐つ。百濟、使を遣はして救はむことを乞ふ。天皇 に行幸したまひて、將に救の兵を出さむとす。(中略)路に下道郡に宿したまふ。一郷を見るに戸邑甚だ盛なり。天皇詔を下し、試みにこの郷の軍士を徴したまふ。即ち勝兵二万人を得たり。天皇大に悦びて、この邑を名^{なづ}けて二万郷と曰ふ。後に改めて邇磨郷と曰ふ。その後、天皇 の行宮にして崩じたまひ、ついにこの軍を遣らず。

(中略)天平神護年中に、 朝臣、大臣といふをもて本郡の大領を兼ねたり。試みにこの郷の戸口を計へしに、わづかに課丁千九百余人ありき。貞観の初めに、故 藤原保則朝臣、かの国の たりし時に、(中略)大帳を計ふるの次に、その課丁を閲せしに、七十余人ありしのみ。 任に到りて、またこの郷の戸口を閲せしに、老丁^d二人・正丁四人・中男三人ありしのみ。去にし延喜十一年に、かの国の 藤原公利、任満ちて都に帰りたりき。 問ふ、「邇磨郷の戸口当今幾何^{いくばく}ぞ」と。公利答へて云く、「一人もあることなし」と。謹みて年紀を計ふるに、皇極天皇六年庚申より、延喜十一年辛未に至るまで、わづかに二百五十二年、衰弊の速かなること、またすでにかくのごとし。一郷をもてこれを推すに、天下の虚耗^{きょこう}、掌^{たなごころ}を指して知るべし。

(意見封事十二箇条)

問1 下線部 a の「臣」とはこの意見封事の筆者であるが、その人名を解答欄に記せ(漢字4文字)。なお文中の はこの人物の名である。

問2 空欄 にあてはまる国名を以下の語群から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。あてはまるものがない場合にはカをマークせよ。ちなみにこの国は、おおよそ現在の岡山県西部にあたる。

ア 備前 イ 備中 ウ 安芸 エ 周防 オ 備後

問3 空欄 にあてはまる官職名を以下の語群から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。あてはまるものがない場合にはカをマークせよ。ちなみにこの官職は四等官の次官にあたる。

ア 佐 イ 輔 ウ 亮 エ 介 オ 助

問4 下線部 b についての以下の説明のうち、正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。あてはまるものがない場合にはカをマークせよ。

- ア 元正天皇の和銅6年に編纂の官命が出された。
イ この文章にみえる「かの国の風土記」は寛平5年に完成した。
ウ 五風土記と呼ばれるのは、常陸・播磨・出雲・豊前・肥後の風土記である。
エ 各国からは、官命に応じる形で「解」の書式で太政官に報告された。
オ 最初に完成した『常陸国風土記』は、『万葉集』より後に成立した。

問5 下線部 c の天皇の名は誤認である。正しい天皇の名を以下の語群から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。あてはまるものがない場合にはカをマークせよ。

ア 神功 イ 推古 ウ 元明 エ 元正 オ 斉明

問6 空欄 にあてはまる地名を以下の語群から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。あてはまるものがない場合にはカをマークせよ。

ア 筑紫 イ 薩摩 ウ 対馬 エ 壱岐 オ 長門

日本史

問7 空欄 にあてはまる官職名を以下の語群から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。あてはまるものがない場合にはカをマークせよ。

- ア 左大臣 イ 太政大臣 ウ 内大臣
エ 准大臣 オ 右大臣

問8 空欄 にあてはまる姓を以下の語群から一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。あてはまるものがない場合にはカをマークせよ。ちなみにこの人物の旧姓は下道氏である。

- ア 大和 イ 巨勢 ウ 吉備
エ 大伴 オ 清原

問9 空欄 にあてはまる官職名を解答欄に記せ(漢字3文字)。ちなみにこの官職は、諸国の戸籍や租税を担当した省の長官である。

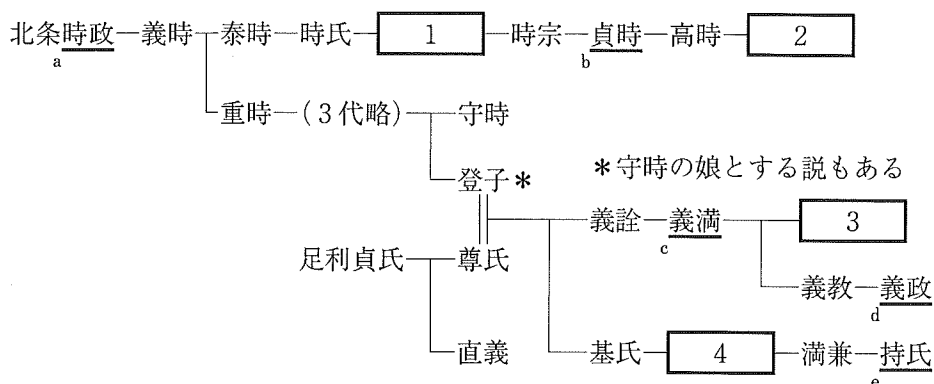
問10 下線部 d についての以下の説明のうち、正しいものを一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合にはカをマークせよ。

- ア 61歳から65歳までの男性。
イ 66歳から70歳までの男性。
ウ 61歳から70歳までの男女。
エ 正丁の三分の一の調庸を負担した。
オ 庸と雑徭が免除された。

問11 下線部 e の年の事柄として正しいものを以下の文章のなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。正しいものがない場合にはカをマークせよ。

- ア 延喜式が完成し奏上された。
イ 勘解由使に新たな交替式の編纂を命じた。
ウ 延喜荘園整理令が発令された。
エ 菅原道真が大宰権帥に左遷された。
オ 宇多天皇が醍醐天皇に譲位した。

〔Ⅱ〕 つぎの系図を参照し、下記の問いに答えよ。



問1 空欄 1 ~ 4 に入るもっとも適した人名を、以下のア～コのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | | | | |
|------|------|------|------|------|
| ア 政氏 | イ 成氏 | ウ 氏綱 | エ 氏満 | オ 義朝 |
| カ 義持 | キ 義尚 | ク 時房 | ケ 時頼 | コ 時行 |

問2 下線部 a の人物に関する説明として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 將軍源頼朝の妻である政子の兄である。
- イ 將軍源実朝を伊豆の修禅寺に幽閉した。
- ウ 相模の御家人である三浦泰村を滅ぼした。
- エ 武蔵の御家人である比企能員を滅ぼした。

問3 下線部 b の人物が執権であった時期におこったできごとに関する説明として正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 御家人の平頼綱が、内管領の安達泰盛を滅ぼした。
- イ 御家人を救う対策として、永仁の徳政令が發布された。
- ウ 御家人の足利尊氏が、六波羅探題を攻め落とすとした。
- エ 御家人の負担軽減のため、異国警固番役が廃止された。

日本史

問4 下線部cの人物が南北朝の合体を実現させた際の南朝の天皇を，以下のア～エのなかから一人選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア 後亀山天皇

イ 後小松天皇

ウ 後花園天皇

エ 後村上天皇

問5 下線部dの人物が重用した作庭家を，以下のア～エのなかから一人選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア 能阿弥

イ 観阿弥

ウ 世阿弥

エ 善阿弥

問6 下線部eの人物が鎌倉公方であった時期のできごとを，以下のア～エのなかから一つ選び，その記号を解答欄にマークせよ。

ア 明徳の乱

イ 上杉禅秀の乱

ウ 享徳の乱

エ 中先代の乱

問7 観応の擾乱について，系図に見える人名を用いて80字以内で説明せよ。句読点も1字に数える。算用数字は1マスに2字記入してもよい。

下書き用(横書き，20字×4行=80字)→

〔Ⅲ〕 つぎのA～Dの文章を読んで、下記の問いに答えよ。

A 江戸幕府は、全国支配をかためるうえから、江戸を中心として交通路や宿駅の制度を整備した。参勤交代の制度化は交通の発達を大いに促進し、また諸産業の発展と都市の発達とは物資の輸送を盛んにした。なかでも五街道^aは、江戸日本橋を起点とする重要な幹線道路で、幕府の直轄下におかれた。また、脇街道とよばれる主要道路も全国をおおっていた。これらの街道には、数多くの宿^b駅がおかれ、また一里塚・渡船場・関所^cなどの施設が整えられた。

問1 下線部aの説明として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 東海道には、江戸・京都間に53の宿駅があり、東海道五十三次(継)といわれた。また大津から大坂に至る京街道の4宿を含める見方もある。

イ 中山道は、江戸より関ヶ原まで55宿であり、その先の守山で東海道と合流し、京都まで59宿ともいわれる。

ウ 甲州道中は、江戸日本橋から八王子・甲府をへて、下諏訪で中山道と合流した。

エ 日光道中は、江戸・日光間に21の宿駅があり、途中に利根川の渡船場である房川渡があった。

オ 奥州道中は、江戸と奥羽地方を結ぶ幹線路で、宿駅は宇都宮の先から10の宿駅があった。千住・宇都宮間は日光道中を兼ねた。

問2 下線部bと五街道の組み合わせとして誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 浜松 — 東海道

イ 軽井沢 — 中山道

ウ 塩尻 — 甲州道中

エ 鉢石 — 日光道中

オ 白河 — 奥州道中

日本史

問3 下線部cの説明として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 幕府は五街道などに治安維持を目的とした関所を設置し、その通行には関所手形(通行手形)が必要であった。

イ 箱根の関所は、東海道の重要な関所で、江戸の防衛上、「入鉄砲に出女」をきびしく取り締まった。

ウ 中山道の関所は、馬籠にあった。

エ 甲州道中の関所は、小仏にあった。

オ 奥州・日光道中の関所は、栗橋にあった。

B 幕府や諸藩は、17世紀初めから大規模な治水・灌漑工事を各地でおこない、用水の体系を整備した。また商人の資力も利用して、海岸部・湖沼・大河川の下流などを耕地として開発させ、積極的に新田開発^dをおこなった。これにより、耕地面積^eや石高^fが飛躍的に増大し、年貢米の増収をもたらした。ただ、新田開発は、水害の原因となったり、肥料・燃料・飼料の供給源である入会地の減少をもたらしたりするなど、新たな問題を引き起こすことにもなった。

問4 下線部dの説明として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 干潟を干拓した新田開発には、児島湾や有明海のものがあった。

イ 摂津川口新田の大部分は、大坂やその周辺の町人が請け負って開発したもので、その石高は約1万5000石におよんだ。

ウ 武蔵国足立郡の見沼新田の開発は、享保年間、利根川から分水した見沼代用水の開削とともに進められた。

エ 元禄年間、越前の紫雲寺潟が干拓され、100以上の新田村ができた。

オ 湖沼を干拓した新田には、下総椿海のものがあった。

問5 下線部 e に関して、18世紀はじめの耕地面積として正しいものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 約100万町歩 イ 約180万町歩 ウ 約230万町歩
エ 約300万町歩 オ 約410万町歩

問6 下線部 f に関して、17世紀末の総石高として正しいものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 約500万石 イ 約1500万石 ウ 約2500万石
エ 約3500万石 オ 約4500万石

C 近世日本の鉱山業は、その初期には金銀山が中心であったが、しだいにその産出量が減少した。かわって、17世紀後半になると銅の産出量が増加し、急増する貨幣の需要に応じるとともに、長崎貿易における最大の輸出品ともなった。大坂町人のなかには、銅山を経営して巨額の資産を形成する者もいた。鉄は、砂鉄の採集によるたたら製鉄が中国・東北地方を中心におこなわれ、そこでつくられた玉鋼は商品として全国に普及した。

問7 下線部 g に関連し、近世日本の鉱山の説明として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 石見大森銀山は、現在の島根県にあり、江戸幕府が銀山周辺を直轄領とした。
イ 但馬生野銀山は、現在の兵庫県にあり、織田信長・豊臣秀吉・徳川家康が直轄とした。
ウ 佐渡相川の金・銀山は、現在の新潟県にあり、江戸幕府が直轄とした。
エ 下野足尾銅山は、現在の栃木県にあり、江戸幕府の銅山として17世紀が最盛期であった。
オ 出羽院内銀山は、現在の山形県にあり、江戸幕府が直轄とした。

日本史

問8 下線部 h に関して、近世日本の貨幣の説明として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 金貨の単位には、「両・分・朱」があった。
- イ 藩札は諸藩で発行・通用した紙幣で、金札・銀札などがあった。
- ウ 東日本ではおもに金貨が(金遣い)、西日本ではおもに銀貨が(銀遣い)それぞれ取引や貨幣計算の中心とされた。
- エ 銀座はまず伏見・長崎におかれ、のちに江戸・京都・大坂に移された。
- オ 寛永期に銭座が設けられ、寛永通宝を大量に鑄造し、銭貨を広く普及させた。

問9 下線部 i のなかで、江戸時代最大の銅山である別子銅山を経営していた商家として正しいものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 鴻池屋 イ 松坂屋 ウ 越後屋
- エ 白木屋 オ 泉屋

D マニファクチュア(工場制手工業)とは、機械制大工業以前の産業資本の生産形態で、一部の地主や問屋(商人)が家内工場を設けて、奉公人(労働者)を集め、分業と共同作業によって生産の能率をあげるものであった。17世紀にすでに酒造業でみられ、19世紀には綿織物業や絹織物業などでみられた。このような新しい経済活動を積極的に取り込むため、多くの藩では藩政改革¹をおこない、藩財政の立て直しや藩権力の強化をはかった。

問10 下線部 j の名産地として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 龍野(播磨国) イ 伏見(山城国) ウ 池田(摂津国)
- エ 伊丹(摂津国) オ 灘(摂津国)

問11 下線部 k に関して、絹織物と生産地の組み合わせとして誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- | | |
|-------------|--------------|
| ア 西陣織 — 山城国 | イ 上田紬 — 信濃国 |
| ウ 結城紬 — 下総国 | エ 久留米緋 — 筑前国 |
| オ 米沢織 — 出羽国 | |

問12 下線部 l の説明として誤っているものを、以下のア～オのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 萩(長州)藩では、村田春海を登用して財政改革に乗り出し、産物方の拡充や専売制の手直しなどで一定の成果をあげた。
- イ 高知(土佐)藩では、「おこぜ組」と呼ばれる改革派が支出の緊縮をおこない、財政の再建につとめた。
- ウ 佐賀(肥前)藩では、反射炉を築造して大砲鑄造をおこない、幕府の注文を受けたりした。
- エ 鹿児島(薩摩)藩では、藩主島津斉彬が反射炉を築造し、造船所やガラス製造所を建設した。
- オ 福井(越前)藩では、藩主松平慶永が有能な人材を登用して改革をおこない、藩財政を好転させた。

日本史

〔IV〕 つぎの文を読んで、下記の問いに答えよ。

2016年1月、安倍晋三内閣の甘利明大臣(経済再生担当，社会保障・税一体改革担当，内閣府特命担当<経済財政政策>)が、不適切な現金授受の疑惑を生じたために、辞職した。甘利大臣は、長期にわたる TPP(Trans-Pacific Partnership, 環太平洋経済連携協定)交渉を妥結に導いた功労者と言われ、調印式への出席が間近に迫っていた。まさに、俗に言う一寸先は闇のような事態となった。

日本近現代史を振り返ってみると、甘利大臣のように対外交渉において尽力したものの、望ましくない事態に陥った例がある。

時代の近いところでは、田中角栄内閣総理大臣も、その一例と言えそうである。田中首相は、1972年に北京に行き、日中共同声明に調印し、日中国交正常化を達成した。その際に、過去において日本が戦争を通じて中国国民に与えた重大な損害に対し責任を痛感し、深く反省することを表明した。その後、1974年の東南アジア諸国歴訪に際して、日本の同地域への経済進出に関わる問題を解消することをめざし、経済支援と共に、相互交流促進の施策をとることを表明した。しかし、その後、政治資金をめぐる疑惑(いわゆる金脈問題)をうけて辞職するにいたった。さらに、アメリカ合衆国ロッキード社の日本への航空機売込みをめぐる収賄容疑によって田中元首相は逮捕された。田中内閣期における日本列島改造論をふまえた諸施策や第一次石油危機による物価の上昇、不況もあいまって、田中首相に対する歴史的評価はきびしいものが多い。

時代をさかのぼれば、A 内閣の大隈重信外務大臣も一例と言えよう。大隈外相は、幕末に結ばれた不平等な条約を改正するために関係各国と交渉を重ね、アメリカ合衆国・ドイツ・ロシアとの新条約調印に漕ぎ着けた。しかし、大審院に外国人裁判官を任用するという条件が批判を招いた。そして、1889年10月、暴漢に襲われ、大隈外相は右足を失う重傷を負ったのである。そのため、改正交渉は中断してしまった。もっとも、大隈は、その後、二度内閣総理大臣を務めたから、政治経歴において報われたと言えよう。

大隈と同じように、不平等条約の改正交渉に尽力しながら挫折した外務大臣として、青木周蔵がいる。青木は、松方正義内閣の一員であったが、1891年5月に

大津事件が発生し、結局、辞職するに至った。その後も、青木は、外務大臣や在外公使・大使を歴任し、日本外交史に足跡を残したものの、不平等条約の改正を達成した大臣として名をとどめることはなかった。

不平等条約の改正(領事裁判権の撤廃など)および日清戦争の勝利を達成した B 内閣の外務大臣として陸奥宗光は、三国干渉に屈することとなった。すなわち、敗戦国清国からの割譲地である遼東半島を、ロシア・ドイツ・フランス三大国の圧力によって清国に返還することを外務大臣として決定したのである。この結果、遼東半島は天皇の思し召しによって返還されることとなり、日本はその代償として清国から多額の金を受け取った。そのころ、陸奥は病床にあったが、公務復帰はむつかしく、1897年8月に死去した。

日露戦争の講和条約(ポーツマス条約)調印に尽力した外務大臣小村寿太郎も、^g国内における講和条約反対の声を聞くこととなった。講和条約が、敗戦国ロシア^hの戦勝国日本に対する賠償金を含まず、また割譲地である樺太についても全島ではなく北緯50度以南の地に限られたことなどが批判されたのである。日露戦争の実態からすれば、日本はかろうじて講和条約に漕ぎ着けたのであり、また、そもそも日露戦争の宣戦布告に東洋の平和を希求することがうたわれていたことからすれば、平和の回復は歓迎されるはずのものであった。講和条約批判は、桂太郎内閣の政権運営への批判と共に、戦勝国というおごりの感情が人々の間に広まっていたことを示唆するのもかも知れない。小村は、その後、もう一度外務大臣を務め、不平等条約の改正(関税自主権の回復)を達成した。こうして、小村は、陸奥と共に、不平等条約改正の達成者として、歴史に名をとどめることとなった。しかし、二度目の外務大臣の職を退いてまもなく亡くなっている。

大正時代から昭和時代にかけて、加藤高明内閣、若槻礼次郎内閣、C 内閣において外務大臣を務めた幣原喜重郎は、協調外交あるいは幣原外交という用語により、よく知られている人物である。しかし、その一方、時として日本軍の中国への派遣が内外から要請されても、中国への内政不干渉方針を堅持し、容易には応じなかったため、軟弱外交という批判にもさらされたのである。そして、満州事変後の内閣退陣により、幣原の外務大臣としての経歴は終わった。敗戦後、1945年10月、幣原は内閣総理大臣となったが、同内閣は翌1946年5月には退

問5 下線部 d の機関にもっとも関係の深い人物を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 清浦奎吾 イ 井上毅 ウ 三島通庸 エ 児島惟謙

問6 下線部 e の事件に関して、正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 乗馬中の英国民間人に対する襲撃事件である。
- イ 訪日中のロシア皇太子に対する襲撃事件である。
- ウ 訪日中の清国全権である李鴻章への襲撃事件である。
- エ 駐日米国大使ライシャワーに対する襲撃事件である。

問7 空欄 に入る人物を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア 山本権兵衛 イ 原敬 ウ 伊藤博文 エ 西園寺公望

問8 下線部 f の人物に関して、誤っているものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 紀州(和歌山)藩の出身である。
- イ 幕末、坂本龍馬が組織した海援隊に加わった。
- ウ 西南戦争に際して、反政府派と通謀し、投獄された。
- エ 第2回衆議院議員選挙において内務大臣として選挙干渉を行った。

問9 下線部 g の条約にもっとも関係の深い米国大統領を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

ア ウッドロー＝ウイルソン イ セオドア＝ローズベルト
ウ ウォレン＝ハーディング エ ミラード＝フィルモア

日本史

問10 下線部 h の情勢にもっとも関係の深いものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 支払い猶予令(モラトリアム) イ 戒厳令
ウ 治安維持法 エ 破壊活動防止法

問11 空欄 に入る人物を、以下のア～エのなかから一人選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 浜口雄幸 イ 団琢磨 ウ 井上準之助 エ 高橋是清

問12 下線部 i の情勢に関連して、正しいものを、以下のア～エのなかから一つ選び、その記号を解答欄にマークせよ。

- ア 次いで、衆議院議員選挙で第一党となっていた日本社会党の片山哲が内閣を組織した。
イ 次いで、自由民主党の初代総裁となった鳩山一郎が内閣を組織した。
ウ 次いで、衆議院議員選挙で第一党となっていた日本自由党の吉田茂が内閣を組織した。
エ 次いで、8党派の連立政権が、細川護熙を内閣総理大臣として発足した。

(白 紙)